

頑張ってます!

《part 33》

「地域の担い手になっていく という使命をもって」



ひろゆき
米谷 拓幸さん
(中島町上島)

幼い頃から父の姿を見て農業の手伝いをしてきた。父も兼業農家だったので、自分も兼業と思っていたが、二年前に農事組合法人なうちの村田正明代表理事から声がかかり、農業を職としたという気持ちが高まった。将来を考えたいという気持ちが。将来を考えたいという気持ちが高まった。将来を考えたいという気持ちが高まった。将来を考えたいという気持ちが高まった。

現在、農の雇用事業で法人に就労。いしかわ耕稼塾のマネジメントコースを卒業し、知り合った仲間と密に情報交換し合う。取引先や導入機械、作業方法など最新の農業事情を収集し知識を増やしている。

働いている先輩方は皆、先生。それぞれ得意分野があり、学ぶことが多い。機械に詳しく操作が上手い干場政明氏からの指導や父、義父の支えもあり、田植え機やコンバインのオペレーターやトラクター草刈機モアなどの最新機械の操作、メンテナンスも任せられ励みとなっている。

400枚を超える田植えや稲刈りの

ほか、大豆やそばなども育てる。自然相手に作業量も多いので、いかに効率良く作業するかを考え作業している。農業は大変ですが楽しいと話す。

鉋打で作る

米は、どこの米より美味しい。そして大豆もびつくりするほど美味しい。その大豆から加工品を作ることや発信をどうするかなど夢が広がる。

安心、安全なものを作り「あなたに任せて良かった」と言ってもらえるようになりたい。これまで農業はお年寄りができるものと勝手に思ってきたが、今は違う。自分たち次世代が地域の担い手になっていくと抱負を述べた。



トラクター草刈機モア

